



わたしの 夢

川俣中学校3年

和田
大世たいせい

医師になつて

大切な人の命を助けたい

わたしの夢は、命を助けることのできる医師になることです。私が医師になりたいと思ったきっかけは、私自身、生まれたばかりの頃から持病を患い中学2年生まで都内の病院に通っていました。そこで私を担当してくれていた医師がとても優しく安心感を与えてくれたことが私にとって心強かったこと、そして身近な人が、がんなどの病気で亡くなつていて、そういった人を助けたいと思つたからです。医師になりたいということを母に話すと「命を預かる仕事だから覚悟と責任が必要だよ」と応援してくれました。医師になるためには勉強はもちろん、体力も必要だと思うので小学校から続けているフェンシングをこれからも続けたいと思います。また、私は1年生の頃から生徒会に入り、現在は生徒会長を務めています。3年間の生徒会活動を通して人の役に立つことや人から感謝されることの喜びを知ることができました。その気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいです。

町長のひとこと vol.29



小島田地区のサロンの会「ひまわり会」代表の田代美奈子さんに話を聞きました。この日は田代分校跡の田代集会所に会員10名が集まり、社会福祉協議会菅野相談員と話し合いをしていました。「ひまわり会」は小島地区の防災マップづくりがきっかけとなり、昨年11月に「これからも集まってみたい」との一言でスタートしたそうです。現在、月1回開催し、会員みんなが健康で長生きできるようにと、フマネット体操や高齢者の食事づくり、縫いぐるみづくりのほか、バス旅行も楽しんでいるとのことでした。今回の訪問では、国道399号線の工事用信号が交通の妨げになっていることや、町道の草刈りが高齢になり大変であることなどの話を伺うことができました。会員からは「地区のみんなと月1回ぐらい顔合わせるのが楽しみです、とても良い」との声がありました。